

高瀬神社 社報

# 越中一宮

第31号

平成23年9月13日

越中高瀬神社  
一宮

<http://www.takase.or.jp/>

撮影:南部写真館 南部 栄氏

## 社頭講話

## 「ひとりごと」

宮司 藤井秀弘

社報を創刊してから早や三十一号となりました。時の移ろいは早く、原稿を書いたと思つたら、すぐに次の原稿の締め切りがやってきます。最近原稿に限らず、身の回りの様々な出来事に即応して行くことが大変になってきました。社報原稿も始めのうちには社頭講話に相応しい内容と思つておりましたが、いつのまにか宮司の眩き、「ひとりごと」になってしまいました。

「年年歳歳花相似 歳歳年年人同不」― 年々歳々、花は相似たり。歳々々々、人同じからず― 『唐詩選』に収められた劉廷芝の七言古詩ですが、人の無常を花に寄せて嘆いています。年を経るごとに老いてゆく自分の姿にも重なります。

人の一生の儂さを痛切に感じるのは、年に一度開催される同級会です。昨年の同級会で顔を合せて近況を語り、大声をあげていた友が、今年はこの世の友ではなくなっており、寂しい思いが心に刻まれて、心の置き所を失うことがあります。私が年老いたからではありません。信頼や友情が深くれば深いほどこの様な感情が強

心に残るのでしよう。大きく見れば、毎年変わらず開催される同級会ですが、細かに見ると、出席者の様子は毎年変化しているのです。

去る八月八日午後二時過ぎ、原発事故で制約された生活を送っている福島県いわき市の子供たちがお父さんやお母さんに連れられて、二泊三日の夏休み旅行に連れてくれました。早朝にいわき市を出発して長時間のバスの旅、大変だろうと思いましたが、朝食を当社でとのことだったのでお弁当が準備して、首を長くして待ちながら、さぞかし子供たちは疲れているだろうと思っていたのですが、バスから降りてきた子供たちは、元気な声で「お世話になります。」と挨拶をしてくれました。そして、食事もおいしそうに食べている姿を見て、嬉しく思うとともに子供たちの元気に驚かされました。更に、食事の後、境内で「宝探しゲーム」をすることになり、三十五度を超える猛暑の中、流れる汗をもちとわず、走り回る姿に無限の力を感じました。震災からの復興を完成させるのは、この子供たちだと思つたと「頑張れ！頑張

れ！」と心の底から応援している自分がいました。子供たちは利賀村で一泊し、「そば打ち体験」などをして、翌日は氷見市の民宿で宿泊し、「海水浴」などを楽しんで帰郷しました。帰る際、感想文を書いてくれたようで、何点か読ませてもらいました。二泊三日の短い旅行でしたが、境内や海で遊んだこと、みんなで花火をしたことなど印象深く心に刻まれた様子でした。一日も早く元の生活に戻れるよう、更には幸せをしつかりとつかみとってくれるよう願うばかりです。

政府の復興支援はどうなっているのか最近ばかり報道されませんが、自分たちのことばかりを優先している様子が腹立たしさを覚えます。本当に被災者のことを考えているのか疑問です。天皇陛下のお言葉にあつたように、被災地の上に長く心を寄せ、私たちができる限りのことをして、少しでも早く復興してもらえるように、更には幸せが戻るように、手をとりあい、助けあつて行くことが我々神道人の務めだと思います。

この度の企画は、富山県神社庁高岡新湊支部・砺波支部が招待するかたちで実施されたのですが、その中心になって動いたのが若い神職たちで、心強く思いました。更に年老いた私のような神職には、境内で遊ぶ子供たちに接することで、自分の年齢を忘れる

ことができ、童心に帰つたような気持ちにさせられました。元気づけようと思つていたのに、逆に元気をもらいました。人は何らかの希望や楽しみを持つことによつて、元気になります。若い人はもとより、年老いても趣味や楽しみや励みを持つていけば元気に過ごせると思います。不便な生活の中にあつても、希望や楽しみがあれば元気に生活していけることをいわき市の子供たちに教えられました。私も年寄りだからといって消極的にならず、神明奉仕に精を出し、年齢とともに充実した人生が送れるよう心掛けたいと思えます。

今回は当社と射水神社を参拝して、境内でひと時を過ごしました。神社神道の自然観を感じてもらうためにも境内で過ごすことは大切なことで、特に自然災害があつた今の時期に自然の恐ろしさや、ありがたさを感じてもらいたいと思うのです。大神様の御加護に感謝して行く神社の祭礼に参加し、神輿や獅子舞など神賑いを通して、神社がそこに鎮座していることの意義を知り、日々、感謝をして生活してほしいと願っています。父祖伝来の地に昔々から受け継がれてきた伝統ある文化傳承を未来に繋ぐためにも、氏神社を核にした村づくりに取り組んで、地域の再興を達成していただきたいと切に願っています。

祭事録

高瀬稻荷社例祭

六月三十日、末社「高瀬稻荷社」の例祭が斎行されました。梅雨時期のあいにくの天候でしたが、講員四十名の参列のもと参集殿特設斎場にて行われました。



祭典に引き続き、御本社に於きまして「商売繁盛祈願祭」が執り行われ、講員一同の商売繁盛・職場の安全が祈願されました。

夏越の大祓

六月三十日午後三時より、我々が知らず知らずのうちに犯し、身についた半年の罪・穢を祓う「夏越の大祓」が斎行されました。

拝殿での「大祓詞」奏上の後、「人形」の納められた「茅舟」を先頭に、宮司以下祭員と参列した氏子崇敬者約百五十名が向拝に設置された「茅の輪」を三度くぐり、心身を清め、残りの半年を清々しく過ごせるよう祈念しました。



除熱祭

七月二十二日、「除熱祭」が斎行され、暑さ厳しい夏を乗り切り、稲や畑作物に災害なく無事に生育するよう祈願しました。

祭典につづき、神職が「猷穀田」に赴き、順調に成育する稲を祓い清め、御幣をたてて御加護を願いました。

夕刻には、時折小雨の舞う中ではありましたが、氏子有志による「熱おくり太鼓」が町内を練り歩きました。



七夕祭

八月七日午後三時より、「第三回七夕祭」が斎行されました。祝詞奏上につづき、多くの短冊が付いた七夕飾りが祓い清められ、多くの子供達をはじめとする参列者は、書き記した願い事が叶うよう、御神前にお祈りしました。

期間中は、地元の高瀬保育園や山野保育園の園児をはじめ、多くの参拝者の短冊が下げられ賑やかな祈願となりました。



だのいねんこ

「第十二回人形感謝祭」  
「第十二回人形展」開催

「第十二回人形感謝祭」が去る七月十八日午前十時より斎行され、参加者は壊れた「日本人形」や古くなった「ぬいぐるみ」など約二〇〇〇体を持ち寄り、感謝の誠心を捧げました。

「人形感謝祭」にあわせ、七月十七日より十九日まで「第十一回人形展」一期一会——人形といけばな——いのち出逢うとき」が開催されました。

木彫や和紙・ガラス作家十七名の創作人形一〇〇点余りの人形が展示され、いけばな



草月流富山県支部「秀抱会」による会場が装飾され、期間中は大勢の人で賑わいました。

▽監修 梅崎 親美



池田由美子 (砺波市)



飛騨山静恵 (富山市)



松本 昌子 (南砺市)



福島まゆみ (金沢市)



川原 るみ (南砺市)



荒井 恒雄 (南砺市)



梅野 浩吉 (南砺市)



野中 願児 (南砺市)



牛島 辰馬 (南砺市)



木村 正和 (南砺市)



安達 陽子 (砺波市)



田中 孝明 (南砺市)



長谷川創一 (砺波市)



野村 幸子 (南砺市)



宮長 由紀 (射水市)



岸本 耕平 (射水市)



嶋田 数男 (砺波市)



草月流富山県支部「秀抱会」会長 梅崎秀鈴

富山県神社庁主催

「浦安の舞」講習会

去る八月二日より五日にかけて、富山県神社庁主催の「浦安の舞」講習会が参集殿を会場に開催され、二十六名の参加がありました。

当神社からは巫女二名が受講し、神社音楽協会講師先崎径子先生のご指導をいただき、舞を習得しました。

尚、神楽舞は大祭に御神前で奉奏されます。



「浦安の舞」講習会に参加して

巫女 藤井友希

この度、神社庁主催・浦安の舞の講習会に参加しました。

神社音楽協会講師・先崎径子先生のご指導のもと、更に美しく、大神様にお喜びいただけるよう気持ちを込めて練習しました。



最終日には神前奉納があり、普段、高瀬神社では舞うことのない四人舞の奉納だったので、とても緊張しましたが、四人で呼吸を合わせて舞うことが出来ました。

今回の講習で学んだことをこれからの神明奉仕に生かして、より充実したご奉仕が出来るよう日々努力したいと思います。

「となみ野100km」徒歩の旅

本年度八回目となる「となみ野100km徒歩の旅」が八月十七日から二十一日まで、四泊五日の行程で実施されました。

NPO法人PEACEとなみ野（神下正弘会長）が主催し、二十日に参加者六十六名（小学生）とリーダーを含めた総勢一二〇名が当神社に立ち寄られました。到着後、先ず参拝し、昼食休憩をしました。

出発に際しては、権宮司が「大神様のご加護を戴いて無事完歩してください」と激励し、参加者は元気に出発しました。



高瀬忠魂碑慰霊祭

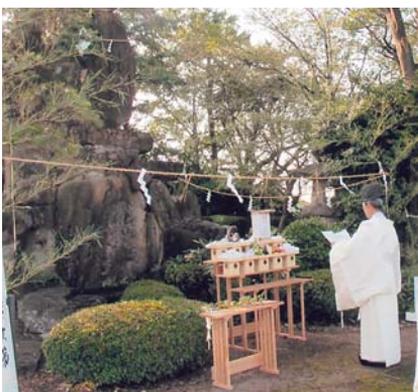
去る八月十六日「高瀬忠魂碑慰霊祭」が斎行されました。

この祭典は神式と仏式で隔年に行われており、本年は権宮司が斎主を務めました。

南砺市北市の「忠魂碑」の前にて祭壇が設けられ、御饌御酒をはじめ、郷土産の野菜果物菓子が供えられました。

祝詞奏上では、明治の戊辰の役より大東亜戦争まで、お国の為に尊い命を捧げられた、当地出身のご英霊七十八柱の名前が奏されました。

八十名の参列者は玉串を奉り、ご英霊に感謝の誠心を捧げました。



神社庁高岡新湊支部・砺波支部共催

# 「福島県神社庁

## いわき支部との

### 交流会」

去る、八月八日より十日にかけて「福島県神社庁いわき支部との交流会」が実施され、園児・小学生三十三名を含む総勢五十二名の方々が、初日の八日に当神社に立ち寄られました。

参加者は長旅の疲れも見せず参集殿入口で出迎えた宮司に向かい、「こんにちは」「お世話になります」と元気な声で挨拶をしていました。

正式参拝後、子供達は「宝探しゲーム」を行い、猛暑の中、境内を思い切り走り廻り、放射能の心配のない屋外を楽しみました。



### シリーズ

## 高瀬の今昔

いまむかし

⑩

### 「拝殿のつと」

高瀬神社の御鎮座は神代の昔、また景行天皇十一年の御代とも伝えられますが、現在の社殿は本殿が昭和二十二年、拝殿が昭和二十三年に建てられました。本殿とは御祭神の鎮座する社殿、拝殿とは祭典を行い、また参拝するため本殿前に設けた前殿の建物であります。

当神社の拝殿は本殿にあわせ、昭和十七年から国費を以って御造営されましたが、基礎工事終了時に終戦。神道指令（昭和二十年十二月にGHQが日本政府に発した、国家神道の禁止と政教分離の徹底的な実施を命じた指令）により工事が中止となり、その後は地方有志の浄財によって完成致しました。一般に神社の社殿には檜が用いられますが、高瀬神社の社殿の殆どは

杉が使われております。これは国費の支給がなくなり、造営が困難となった神社を助けようと、氏子崇敬者の皆様より貴重な屋敷林を切り出し御寄付いただいた為で、杉の社殿は当神社の大きな特徴であり誇るべき歴史でもあります。

昭和二十三年九月七日、ようやく完成した拝殿の竣功奉告祭が斎行され、境内では奉祝の奉納行事が盛大に行われました。祭典当日は幾多の困

難を乗り越え、完成のお祝いをする神社関係者をはじめ、氏子の方々で境内は大いに賑わった様子が記録されております。

この度、完成以来約六十年ぶりに幣殿（幣帛を奉奠する本殿と拝殿との間にある社殿）・拝殿床の張替工事が行われ、新しくなりましたが、当時の造営にご尽力いただいた先人の苦勞と喜びを忘れる事なく、日々の神明奉仕に励んで参りたいと思っております。



拝殿竣工奉告祭



祝儀奉納

# 参拝日誌抄

(平成二十三年六月〜八月・敬称略)

## 〔六月〕

六日 あじさい会 二十名

七日 越路ガーデン 十二名

(境内剪定作業奉納)

八日 氏子清掃奉仕(村総出)

十一日 白山神社 宮司 上杉千文

(株)スリーティー運輸 十五名

十三日 立正佼成会(清掃奉仕)

十四日 白山比咩神社 宮司 村山和臣

二十六日 高瀬遺跡菖蒲まつり実行委員会 十五名

三十日 高瀬稲荷講 商売繁盛祈願祭

〔七月〕

一日 中越パッケージ(株)富山工場

中越パッケージ(株)砺波工場

中越パッケージ(株)福光工場

中越パッケージ(株)伏木事業所

川田工業(株) 三十五名

建設業労働災害防止協会

富山県支部砺波分会

五十三名

砺波労働基準監督署

(社)富山県労働基準協会 砺波支部

林業木材製造業

労働災害防止協会砺波分会

タカハタ工業(株) 六十四名

タカハタ工業(株)高和会

タカハタ工業(株)造作部会

タカハタ工業(株)新潟高和会

二日 松本建設(株) 二十一

八日 (株)ディエスケイ 十一名

九日 砺波高校野球部 六十一名

神社庁砺波支部役員

ポイススカウト金沢第十団 二十名

十日 南砺市消防団 六名

南砺市消防団 六名

福野方面団第四分団 五名

南砺市消防団 五名

福野方面団第五分団

福野方面団第五分団

福野方面団第五分団

福野方面団第五分団

十三日

東京五十鈴会

東京大神宮

宮司 松山文彦

以下十六名



立正佼成会(清掃奉仕)

福野高校野球部 五十一名

十八日 神社庁利波支部例会

神社総代会砺波支部役員

二十二日

大浜熊野大神社

宮司 鈴木 閑

総代長 杉浦仁吉

以下十七名

二十四日

愛知県神社庁

豊田支部高橋分会 七十六名

三十一日 高瀬グリーン会 二十六名

## 〔八月〕

二日 富山県神社庁主催

「浦安の舞講習会」(五日迄)

七日 第五十四回

富山県神社総代会砺波支部

「総会」「国家隆昌祈願祭」

八日

福島県神社庁いわき支部

五十二名

十三日

大美山小学校

昭和三十九年卒業生 十名

(還暦参拝)

二十日

となみ野一〇〇<sup>\*</sup>徒歩の旅

二十一日 銀座まるかん全国一の宮駅伝 一二〇名

二十八日 晴明神社剣鉾会 二十五名

三十一日 群馬県神社庁良井支部 以下七十一名

支部長 神保 侑史

宮司 山口 琢也

以下十五名

## 団体参拝のご案内

事業所の安全祈願・創立記念日等の各種祈願を随時受け付けております。

不明な点は社務所までおたずね下さい。

(初穂料) 一〇、〇〇〇円

以下十五名

以下十五名

以下十五名

諸催事のこと

# 国家隆昌祈願祭

去る八月七日、「第五十四回富山県神社総代会砺波支部総会」が開催され、総会に先立ち午前九時より「国家隆昌祈願祭」が斎行されました。祭典後には神様の大前において、約二〇〇名の総代・役員が見守る中、神社世話表彰が行われ、多年にわたり社務運営に寄与された方々に、山田支部長より感謝状と記念品が贈られました。

午前十時からは総会が行われ事業報告・決算・予算が承認されました。

引き続き立山博物館学芸員福江充氏より「立山信仰と立山曼荼羅」と題して、記念講演をいただきました。



# 心ひかれた風景



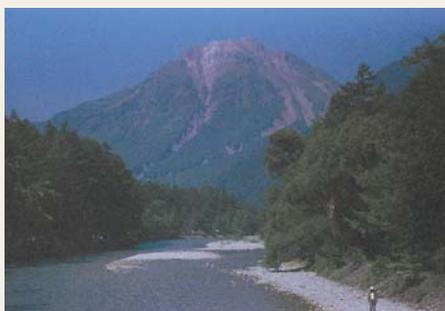
御母衣ダム

平成5年4月  
国道156号線より



牛嶽

平成18年1月  
夢の平スキー場より



焼岳

昭和63年10月  
上高地より



富士山

平成3年5月  
富士急ハイランドより



立山連峰

平成18年10月  
白山スーパー林道より



焼岳

昭和63年10月  
安房峠より

撮影

宮司 藤井秀弘

# 平成二十四年「初詣献灯」の御案内

当神社では「初詣献灯」を実施致しております。本行事は、初詣期間中に正参道両側に「提灯」を掲げ、来る新年が更なる輝かしい一年となるよう、尚一層の御神徳を授けて戴くことを願い奉納するものです。

一、「初詣献灯」は正月七日まで、境内等参拝者道筋に献灯いたします。

一、「初詣献灯」は、それぞれ正面に希望の芳名（会社・氏名等）を記入いたします。

一、献灯者の家内安全・商売繁盛の祈願祭を奉仕いたします。

一、献灯初穂料は、一基につき 金壺萬円御志納願います。

一、申込締切 十一月三十日までにお申込下さい。

※記載芳名 例（約八文字）

一、会社

南砺市 (株)高瀬  
高瀬産業株式会社

二、個人

高瀬 高瀬太郎  
高瀬 太郎

## 御案内

### 七五三詣 数え年

本年は次の通りです。

○七歳(女子) 平成十七年生

○五歳(男子) 平成十九年生

○三歳(男女) 平成二十一年生

※十月一日より十一月末日まで、毎日午前八時三十分より午後四時三十分まで随時受け付けております。

### 元服祝 (男子) 数え年

○十五歳(平成九年生)

### 髪上祝 (女子) 数え年

○十三歳(平成十一年生)

### 戌の日 (十月、三月)

(十月)十日・二十二日

(十一月)三日・十五日・二十七日

(十二月)九日・二十一日

平成二十四年

(一月)二日・十四日・二十六日

(二月)七日・十九日

(三月)二日・十四日・二十六日

祭典・結婚式等で御奉仕できない時間帯もありますので、不明な点は社務所までおたずね下さい。

尚、十一月二十三日は新嘗祭

齋行のため午後一時より受付いたします。

### 第三十八回献茶式

十月三十日(日)午前十時齋行  
(お茶席・二席)

午前八時三十分～午後二時三十分  
(当番) 古儀茶道数内流

竹風会小矢部支部  
(本席) 川島恵子社中

(副席) 五葉会  
(茶券) 一枚三千円(短冊・点心付)

(主催) 高瀬神社献茶奉賛会

### 平成二十四年 初詣奉仕巫女募集

初詣にご奉仕いたたく巫女を募集します。

〔期間〕一月一日～三日

〔募集人数〕八十名

※詳細は社務所へお問合せ下さい。

### 編集後記

今夏はすつきりしない不安定な天候ではありましたが、例年のような、連日の猛暑に悩まされることなく、比較的過ごしやすい毎日でした。

これから爽やかな秋をむかえますが、台風季節の到来でもあります。風雨の害無く、平穏に過ごせますよう、神々に祈らずにはおられません。

氏子崇敬者の皆様におかれましては、ご自愛いただき、清々しくお過ごし下さいませよう衷心よりご祈念申し上げます。

### 【表紙写真】

樹齢五〇〇年の御神木

# 七五三詣

お子様の健やかな成長を祝う七五三詣

高瀬神社にてお子様の衣裳（和装・洋装）レンタル・着付及びご家族様の衣裳レンタル・着付、記念写真撮影を承ります。  
お気軽にお問合せ下さい。 担当 黒田



## 衣裳内見会

日時 10月15日(土)、16日(日)  
午後1時～5時まで 予約不要!

アマノ衣裳店の協力により七五三衣裳内見会を開催いたします。  
是非この機会をご利用下さい。

## ブライダル相談会及びフェア情報

### 9月

S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

### 10月

S	M	T	W	T	F	S
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

### 11月

S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

### 12月

S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

一宮フェア 13時・14時・15時 要予約  
ブライダル相談会 9時～16時 予約不要

## 新春 ブライダル フェア



平成24年  
1月1日(日) 元旦  
午前0時から午前3時  
午前9時から午後5時

ウェディングドレス試着  
商品展示  
見積相談など



## Miche Rosee

おいしい  
お菓子の研究所  
ミッシュローゼ

イオン高岡ショッピングセンター店  
富山県高岡市下伏木間江383 イオン高岡ショッピングセンター1F  
TEL 0766-27-3888  
福野ショッピングア・ミュウ店  
富山県南砺市寺家新屋敷366 福野ショッピングア・ミュウ店内  
TEL 0763-22-1468